

東京医師アカデミー クリニカルフェロー

消化器外科コース 募集要項

1) 応募資格	令和3年4月時点で、以下の要件を満たしている方 ・外科専門医取得または取得見込みの方
2) 募集人員	1名程度
3) 所属先	東京都立墨東病院 外科
4) 研修期間	3年間
5) 選考日	令和3年1月27日(水)(予定)
6) 選考会場	応募者に直接連絡いたします。
7) 選考方法	個別面接(20分程度)、口頭試問(20分程度)
8) 合否連絡	選考後3週間以内に合否をご本人にご連絡いたします(合格通知後1週間以内に誓約書の提出をお願いいたします)。
9) 応募方法 提出書類	以下のものを申込期限までに下記 11) の申込先に郵送すること ① 応募用紙兼履歴書 ② 医師免許証の写し ③ 認定医・専門医等の資格証明書の写し ④ 推薦状2通 ※提出いただいた書類はご返却できませんので予めご了承下さい。
10) 申込期限	令和3年1月4日(月)必着
11) 申込先及び 問合せ先	〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号 東京都庁第一本庁舎24階中央 病院経営本部経営企画部職員課医師アカデミー担当 (電話)03-5320-5861
12) コース内容 に関する 問合せ先	真栄城 剛 (東京都立墨東病院 外科部長) (電話)03-3633-6151(代表)
13) 備考	選考日当日は、医師免許証の原本を持参すること。

消化器外科コース

主たる研修病院 (所属病院)	東京都立墨東病院	
連携して研修する病院・ 施設(予定)	東京都立駒込病院、がん研有明病院	
研修時に必要と する知識・技量 (応募資格)	外科専門医取得または取得見込みの方	
コース 責任者	氏名(所属)	真栄城 剛(外科)
	資格名	日本外科学会指導医、日本消化器外科学会指導医、日本消化器内視鏡学会指導医、日本外科学会専門医、 日本消化器外科学会専門医、日本内視鏡外科学会技術認定、日本消化器内視鏡学会専門医、消化器がん外科治療認定医、 日本がん治療認定医機構認定医
	専門分野	消化器
臨床指導体制	より専門化、細分化が進む外科の中で幅広い対応能力を持った消化器外科の育成をおこなう。手術研修、外来業務、周術期管理を通して臨床研修論文作成、学会発表を行っていく。学会認定として高難度の消化器外科学会専門医の習得をおこなう。同時に、近年の腹腔鏡手術への移行をより進めていき、他の癌拠点病院に劣らぬ内視鏡外科の手術を習得することで内視鏡外科学会技術認定の習得を目指す。 墨東病院 外科(消化器)の指導医体制 部長1名、医長4名 日本外科学会専門医 5名、うち指導医4名 日本消化器外科学会専門医 5名、うち指導医5名 日本消化器内視鏡学会専門医 1名、うち指導医1名 日本内視鏡外科学会技術認定医 2名 消化器がん外科治療認定医 2名	
臨床 研究	これまで 行ってきた 研究と実績	<ul style="list-style-type: none"> ・がん患者の腫瘍組織、胸腹水、末梢血における免疫環境の解析 ・腹腔鏡下肝嚢胞天蓋切除における術中エタノール散布の効果 ・胃癌における浸潤リンパ球の免疫動態の解析 ・肝胆膵外科周術期における味覚障害の検討 ・還元型/酸化型アルブミンによる周術期栄養評価法の確立 ・上部消化管手術における術後肺炎発症の細菌学的検討 ・大腸癌治療におけるCTA(CTAngiography)、CTC(CTColonography)およびその融合画像の活用 ・局所進行胃癌に対する術前化学療法の有効性を検証する臨床第Ⅲ相試験
	今後行う 研究と 研究体制	<ul style="list-style-type: none"> ・VR技術を活用した肝切除ナビゲーションシステムの構築 ・肝切除における癒着防止材使用の有用性および術後短期成績に与える影響に関する研究 ・肝胆膵領域手術におけるICG蛍光法を用いた術中ナビゲーションの有用性の検討 ・個々のがんの遺伝子変異に基づく固有抗原の同定と腫瘍内微小環境の解析に基づく免疫制御法を組み合わせた個別化がんワクチン治療の開発 ・上部消化管手術周術期の口腔内および気管内の細菌叢変化の検討 ・腹腔鏡下大腸癌手術における術前3D画像とICG蛍光法による術中イメージングの活用
研修項目	<p>臨床:消化器外科手術、腹腔鏡手術、周術期管理を理解し、手術手技を習得する。腹部の緊急手術に関しては責任者ができるように経験を積む。内視鏡外科の高度な技術を習得する。ER対応をすることで腹部救急外科へのマネージメントを習得する。</p> <p>学会発表:症例報告に加え、症例集積をおこない新規の発表をする。臨床研究の成果も積極的に発表する。また、研修医、専修医の学会発表指導も行う。</p> <p>臨床研究:当院にて継続して行っている研究に参加してもらい、また、新しい研究テーマを考案してもらい、病院として積極的に支援する。</p> <p>論文投稿:学会発表内容、臨床研究内容を積極的に論文文化し発表するよう指導する。</p>	
研修内容・達成目標	<p>上記項目を研修し、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消化器がん症例を150件/3年間 ・学会発表10件/3年間 ・論文投稿3/3年間 ・日本消化器外科学会専門医・日本内視鏡外科学会技術認定申請を経験習得する。 	
コース内容に関する 問合せ先	真栄城 剛(東京都立墨東病院 外科部長) TEL:03-3633-6151(代表)	